

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社福島銀行（証券コード: 8562）

【据置】

長期発行体格付
格付の見通し

BBB
安定的

■格付事由

- 福島市に本店を置く資金量約 7,700 億円の第二地方銀行。県内の預貸金シェアは 1 割未満と高くはないものの、一定の営業基盤を有する。長期発行体格付には、比較的良好な貸出資産の質や相応の資本充実度などを反映している。SBI グループとは、共同で開発した基幹系システムへ移行したほか、業務改革や営業面などで連携を強めている。同グループの出資比率は約 34%まで高まっているが、当行の経営における同グループの関与度などを踏まえて、格付は当行の単独信用力を評価している。同グループとの協業を通じた、当行の提案商品の拡充や非対面チャネルの強化、収益源の多様化などに注目している。
- 収益力は、BBB レンジの地域銀行対比で低い。26/3 期の ROA（投信解約損益、子会社配当を除くコア業務純益ベース、以下同じ）は 0.1%台半ば。コア業務純益は、基幹系システムの変更による経費増加の剥落や、資金利益の増加などで前期の一時的な赤字から回復した。業務のデジタル化を通して人員の再配置が進んでおり、営業体制の強化による貸出金利息やフィー収益の拡大、経費の削減につなげていけるか注目していく。
- 貸出資産の質に問題はない。金融再生法開示債権比率は 2%弱と問題のない水準で推移しており、分類率も低位にある。与信先の小口分散や保守的な引当などを勘案すれば、与信費用は落ち着いた水準で推移すると JCR はみている。ただし、収益力が高くないため、コア業務純益対比でみると与信費用の負担が大きくなりやすいことには留意を要する。
- 有価証券運用のリスクは比較的大きい。過年度に超長期国債や外国債券ファンドのエクスポージャーを積み増したことで、有価証券にかかる金利リスク量は高水準で推移している。円建債券についてはベアファンドの購入により金利リスクを一定程度抑制しているものの、国内外の市場金利の変動と、それに伴う評価損の動向には注意が必要である。
- 資本充実度は、BBB レンジの地域銀行として相応の水準である。26 年 3 月末の調整後連結コア資本比率は 7%台前半。貸出金残高の伸長などによるリスクアセットの増加や、その他有価証券評価損の拡大に対し、内部留保の蓄積で前年同月末比おおむね横ばいとなった。引き続き利益の蓄積は着実に進むと JCR はみている。

（担当）加藤 厚・高澤 俊太郎

■格付対象

発行体：株式会社福島銀行

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	BBB	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2026年8月25日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：宮尾 知浩
主任格付アナリスト：加藤 厚
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024年10月1日）、「銀行等」（2021年10月1日）として掲載している。
5. 格付関係者：
（発行体・債務者等） 株式会社福島銀行
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 **日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル